



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお，原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7. 提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇など）

### 京都大学基礎物理学研究所グローバル COE 特定准教授

1. 特定准教授 1 名
2. (1) 京都大学基礎物理学研究所  
(2) 京都市
3. 物理学（理論）
4. 当 GCOE プログラムの趣旨に則り，理論物理学において広く，意欲的に分野横断的な研究をしていただく。本人の希望があれば教育活動を委託することもある。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期  
(2) 着任後から平成 25 年 3 月 31 日までの 4 年半の期間
7. (1) 履歴書，(2) 発表論文リスト（主要論文 3 点以内に印を付けること），(3) 研究歴（研究成果の説明），(4) 研究計画および抱負，(5) 着任可能時期，(6) 主要論文 (2) で印を付けた各論文の pdf ファイルまたはアーカイブ番号，(7) 2 ないし 3 名からの意見書または推薦書。
8. 平成 20 年 8 月 31 日（日）（必着のこと）
9. (1) 京都大学基礎物理学研究所長 江口 徹 宛  
[coe-jinji@yukawa.kyoto-u.ac.jp](mailto:coe-jinji@yukawa.kyoto-u.ac.jp)  
(2) 藤田裕子（Tel: 075-753-7009 直通）  
e-mail: [fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp](mailto:fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp)
10. 本電子メールアドレスに提出書類の (1) から (5) を一つの pdf ファイルにし，(6) は各論文の pdf ファイルまたはそのアーカイブ番号を指定して送る

こと。メールのメインタイトルには「GCOE 特定准教授人事応募」として下さい。7. (7) も本電子メールアドレスに，推薦者または意見者が直接締切までに送付すること。メインタイトルを「GCOE 特定准教授人事推薦書（または意見書）」として下さい。

11.
  - 本特定教員には，年間 150 万円程度の研究費を保証する。
  - 給料など労働条件については，京都大学の特定有期雇用教員の規定に準じる。
  - 本人の希望があれば，講義や演習等の教育活動を委託することがある。
  - 本グローバル COE プログラムの詳細は <http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/gcoe/> を参照のこと。
  - 決定（予定）時期：平成 20 年 9 月末
  - 待遇：特定准教授（グローバル COE）

### 神奈川工科大学基礎・教養教育センター 物理系列任期制教員

1. 教授，あるいは准教授 1 名
2. (1) 基礎・教養教育センター物理系列  
(2) 神奈川県厚木市
3. 物理学または物理学を応用する分野
4. 力学，電磁気学，物理および化学実験などの物理系科目
5. (1) 2009 年 4 月  
(2) 5 年 ただし，任期の更新または通常の専任への変更もありうる。
6. 博士号取得者（取得見込みを含む）
7. (1) 履歴書，(2) 研究業績リスト，(3) 所属学会および社会における活動等，(4) 教育歴，(5) 教育に対する抱負，(6) 研究に対する抱負，(7) 推薦書，(8) 連絡先，(9) 主要論文の別刷
8. 2008 年 10 月 4 日（土）必着
9. (1) 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030 神奈川工科大学「庶務担当部長気付（物理系列）教員選考委員会」  
(2) 基礎・教養教育センター物理系列 教授 万代敏夫 Tel/Fax: 046-291-3076  
e-mail: [bandai@gen.kanagawa-it.ac.jp](mailto:bandai@gen.kanagawa-it.ac.jp)

10. 詳細は <http://www.kait.jp/topics/tp060615.shtml> を必ずご覧下さい。

## 大阪府立大学大学院理学系研究科教授

1. 教授 1 名
2. 理学系研究科物理科学専攻
3. 電波天文学. ALMA の運用開始を見据えてミリ波, サブミリ波領域を中心に観測的研究を進めると共に, 効率的な観測を行うための機器開発等を推進する.
4. 宇宙地球科学, 宇宙物理学, 電波分光特論等
5. 平成 21 年 4 月 1 日 (予定)
6. (1) 博士号取得者  
(2) 学部, 博士前期課程及び博士後期課程の教育研究指導を担当できる者  
(3) 学校教育法第 9 条に規定する欠格条項に該当しない者
7. (1) 履歴書. (様式 1) により作成してください.  
(2) 教育歴. (様式 2) により作成してください.  
(3) 研究業績書. (様式 3) により作成してください.  
(4) 主要な論文 5 点以内の別刷 (コピーでも可)  
(5) 上記の論文の概要. 各 400 字程度で作成してください. (様式不問)  
(6) これまでの研究概要. 2,000 字程度で作成してください. (様式不問)  
(7) 採用後の研究計画及び教育に関する方針について, 2,000 字程度で作成してください. (様式不問)  
(8) 過去 5 年間の外部研究費取得状況 (様式不問)
8. 平成 20 年 9 月 30 日 (火) 必着  
書類審査及び必要に応じて面接・プレゼンテーションを行います.  
選考結果については平成 20 年 11 月末までには郵送で通知します.
9. (1) 公立大学法人大阪府立大学総務部人事課  
〒599-8531 堺市中区学園町 1 番 1 号  
(2) [専門分野関係]  
大阪府立大学大学院理学系研究科  
物理科学専攻 小川英夫  
Tel: 072-254-9726 Fax: 072-254-9726  
e-mail: ogawa@p.s.osakafu-u.ac.jp  
[募集全般]  
公立大学法人大阪府立大学総務部人事課  
Tel: 072-254-9105
10. ※提出書類は A4 判とし, 各書類に氏名を記入し

て下さい。

※原則として, 提出書類は返却しません。

※[様式 1・2・3] については, ホームページからダウンロードすることが可能です。

[http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff\\_01.html](http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff_01.html)

※封筒の表に「理学系研究科物理科学専攻教授応募書類在中」と朱書き, 「書留」で郵送してください。

11. 給与・勤務条件等は公立大学法人大阪府立大学の定める規程による。

## 京都教育大学教育学部理学科教員

1. 講師または准教授 1 名
2. (1) 京都教育大学教育学部理学科  
(2) 京都市伏見区深草藤森町 1
3. 理科教育
4. 学部・大学院の授業担当, および大学院における研究指導
5. (1) 平成 21 年 4 月 1 日  
(2) 任期なし
6. 着任時 40 歳以下で修士または博士の学位を有する方. 特に理科教育に関する研究業績を有し, 中学校理科第 2 分野の内容に関する研究をバックグラウンドにする方.
7. (1) 履歴書 (本人自著押印, 裏面に氏名記載のある写真貼付, 所属学会, 社会的活動等も記載), (2) 研究業績一覧表 (著書, 論文, 学会発表, 教育実践, その他に分類した研究業績一覧), (3) 主要業績の提示 (著書・論文 5 点について現物または別刷・コピーを提示し, それぞれ 200 字程度の要旨を添付のこと), (4) 「教育・研究歴および赴任後の抱負」について述べたもの (A4 判, 様式自由, 2,000 字程度), (5) 本人について問い合わせが可能な人 (2 名) の氏名, 所属, 連絡先.
8. 平成 20 年 9 月 17 日 (水) 17:00 必着
9. (1) 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地  
京都教育大学総務課人事グループ  
(2) 京都教育大学教育学部理学科 村上忠幸  
e-mail: rikyo@kyokyo-u.ac.jp
10. 封筒に「理科教育教員応募書類在中」と「朱書き」で明記し, 必ず「簡易書留」など受領の確認ができる郵便または宅配便で送付願います. 受領の確認ができない普通郵便, 電子メールまたは持参などによる応募は受付できません. なお, 応募書類は原則として返却いたしません. 返却希望の場合はその旨を

明記の上、返信用の封筒（送付先明記、所定の金額の切手を添付したもの）を必ず同封して下さい。

11. (1) 採用後は初等および中等理科教育に積極的に取り組んでいただきます。
- (2) 教員免許状を有する方が望ましい。
- (3) 採用された場合、本学への通勤可能な範囲に居住できること。
- (4) 必要に応じて面接を行います。ただし、その旅費は自己負担となります。審査の状況により、健康診断書、本学所定の候補者調書等をご提出願うことがあります。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

### 茨城大学理学部教員

1. 2008年4月（第101巻4号）
2. 米倉覚則（大阪府立大学）
3. 2008年10月1日

### 研究助成

#### 平成21年度笹川科学研究助成募集要項

1. 趣旨  
「笹川科学研究助成」は、21世紀を迎えて真に質の高い社会の実現のため萌芽性、新規性および独創性のある内容をもった研究を奨励し、振興することを主旨とし、ほかからの研究助成が受けにくい研究を全国的に掘り起こすとともに、意欲に満ちた優れた若手研究者の育成ならびにその研究に対する助成を目的とします。
2. 募集期間  
平成20年10月1日（水）から平成20年10月15日（水）《必着》までとします。
3. その他  
申請条件、選考方法、決定通知、助成の対象となる研究者、交付方法、助成交付金、決定後の主な手続き等、その他等はホームページを参照下さい。  
財団法人日本科学協会笹川科学研究助成係  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F  
Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369  
e-mail: ssrc-jss@silver.ocn.ne.jp  
URL: <http://www.jss.or.jp>

### 研究助成結果

#### 2008年度山田科学振興財団研究援助

代表研究者：土橋一仁  
研究題目：マゼラン銀河の暗黒星雲探査  
研究金額：2百万円

### 研究会・集会案内

#### 第58回科学講演会

主催：財団法人東レ科学振興会  
日時：2008年9月19日（金）  
開場 16:30～終演 20:00  
場所：有楽町朝日ホール  
テーマ：粒子ビームがみる世界  
その他：入場無料・予約不要（定員 630名）  
問合先：財団法人東レ科学振興会  
千葉県浦安市美浜 1-8-1  
Tel: 047-350-6103 Fax: 047-350-6082  
e-mail: [torayzaidan@tgnts.toray.co.jp](mailto:torayzaidan@tgnts.toray.co.jp)  
URL: <http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

### 会務案内

#### 【理事会議事録】

開催日時：2008年6月21日（土）13:00～15:30  
開催場所：東京八重洲ホール 412号室  
出席者：土佐、花岡、高田、北本、田村、堂谷、中本、比田井、嶋作、福田（以上10名）  
有効表決状提出者：柴橋、國枝、和田、渡部、高羽（以上5名）  
他に東條事務長が出席した。  
議事に先立ち議長は定款により土佐理事長、署名人として花岡、高田両庶務理事を選出した。

#### 報告

1. 前回議事録の確認  
高田庶務理事より資料1に基づいて前回の議事録の報告が行われ内容の確認を行った。
2. 秋季年会等について  
福田開催地理事より、配布資料に基づいて報告が行われた。9月11日～13日に岡山理科大学において開催予定で、14日に公開講演会を予定している。

なお、百周年記念祝賀演奏会を12日の総会直前に行うという提案については、特に問題はないとの判断で了承、春に行った百周年記念の展示パネルの再展示についても了承された。

近年の年会においては、懇親会について予算的に苦しいことが結構多いので、事前の登録なども含めて、人の集め方にさらなる工夫が必要ではないかとの意見が出された。

教育フォーラムについて、今回については世界天文年特別セッションとの合同での開催となった旨、報告された。なお、毎回の教育フォーラムの内容について、最近理事会への報告などもなくなってきているようなので、企画が決まった段階で毎回理事会において報告をするよう、教育理事にお願いする必要があるとの意見で一致した。

### 3. 百年史編纂委員会の解散

高田庶務理事より、百年史編纂委員会については、今年度をもって解散をする方向で委員長である尾崎氏と話を進めていることが報告された。無事に百年史が発行されたので、解散については特に問題はないが、本委員会に関する内規を廃止するための起案を忘れず行わないといけないう点が注意事項として指摘された。

### 4. その他

#### (1) 百周年記念講演会の記事について

3月に行われた百周年記念講演会と式典について、すべての学会員に対する報告がまだ行われていなかったため、現在柴橋副理事長を中心に、天文月報用の原稿をとりまとめている最中である旨、高田庶務理事より口頭で報告が行われ、最新版の原稿案が回覧された。

百周年記念事業についても今年中には何らかの形で報告をしたほうが良いであろうとの意見が多数出され、それについては、百周年記念出版の完成を待って、12月辺りに月報への報告を行うべきであろうとの意見で一致した。

#### (2) 学会ホームページへの対策について

高田庶務理事より口頭で、前回の理事会や評議員会でも話題に上った学会ホームページの英語版の充実や、内容更新の体制強化についての取り組みについて口頭で報告が行われた。

8月末を目処に、現在の学会の活動を記した部分の英語版の作成を行って順次公開していく予定であること、現状の事務局の体制で、とりあえず取り組んでいけそうな見通しであることなどが報告された。なお、議論の中で特に優先的に英語版に対して取り組みを行うべき事項として挙げられ

たのは、学会からの旅費の補助などに関するページや応募フォーム（内地留学や早川基金）、年会の講演申込用のフォームのテンプレートなどであった。特に早川基金のホームページについては、委員長の所属機関でページを作成している現状を考えると、やり方を考える必要があるのではないかと意見が出された。

#### (3) 天文・天体物理学オリンピックについて

花岡庶務理事より、口頭で天文・天体物理学オリンピックについて、学会のほうに第2回の開催に対して参加の要請状が届いている旨、説明があり、招待状のコピーが配付資料として配られた。以前に参加意義について議論になった天文オリンピックとは別物のものであること、天文オリンピックについては、2005年に実際の状況を調査し、参加については否定的な見解であったことなどが紹介された。すぐには参加する意志はないものの、今後の動向を見ておく必要があること、もし参加となった場合でも、参加費等に関する資金の調達にはそれなりの注意が必要であることなどが指摘された。

#### (4) 学会ロゴの商標登録について

北本会計理事より学会のロゴの商標登録について特許庁より拒絶の通知が来た旨、口頭で報告が行われた。ASJアカデミーというところとの重複を指摘された。今後、文房具、書籍、ソフトウェアなどに使うための商標登録はトライすることを考えているとのこと。また、日本語版についての商標登録はトライしていない旨、あわせて報告された。

## 議 題

### 1. 新入会員の承認

高田庶務理事より資料2に基づいて新規入会員のリストが示され、了承された。また、退会する会員のリストについてもあわせて報告が行われた。

### 2. 新役員候補者

資料3に基づいて、次期（2009年1月1日～2010年12月31日）の新役員候補者について高田庶務理事より紹介が行われ、指摘された字句の修正を行うことを条件に承認された。

### 3. 新選挙管理委員候補者

資料4に基づいて、次期（2009年1月1日～2010年12月31日）の選挙管理委員候補者について高田庶務理事より紹介が行われ、承認された。

### 4. 新委員会委員候補者

資料5に基づいて、次期（2009年1月1日～2010



年12月31日)の新委員会委員候補者について高田庶務理事より紹介が行われ、指摘された字句・表記の修正を行うことを条件に承認された。

なお、PASJ顧問の選定を編集委員会が行うのはおかしいのではないかとの意見が出され、今後は顧問の長を決めてもらい、その人に後任を決めてもらうのが妥当であろうとの意見で一致した。また、PASJ編集委員は増加させて、カバーする分野の偏りを是正するなどの措置をとったほうがよいのではないかとの意見があり、次期はとりあえず1名増加で対応しているが、今後もその点に留意しながら、状況にあわせて増員する方向性で考えていくことで合意した。

#### 5. 2009年度事業計画書案

2009年度事業計画書案について、高田庶務理事より資料6に基づいて説明が行われ、指摘された表記の修正を行うことを条件に承認された。

議論の中で、春季の総会でも指摘が出た、財団等の助成金などに対する学会員の推薦の現状と今後の方針について質問が出され、現状では、推薦依頼があった場合に理事長、副理事長で推薦者を決めて推薦していること(年に2件程度)であることが示され、その点はさらに強化する形で、もっと積極的に推薦をしていくためのシステムを作っていくべきであるとの意見が出された。まずは他学会などの情報を実務理事のほうで収集し、それらを参考にしながら具体化していくべきであろうとの意見で一致した。

#### 6. 2009年度収支予算書案

田村会計理事より資料7に基づいて2009年度収支予算書案について説明が行われた。今年度と同じく、大きな赤字が見込まれる点については、百周年記念関連の支出がなくなった代わりに世界天文年関連の支出が大きくなったためであることが示された。また、表記自体もよりわかりやすいものにするため、前年度までのものと比べて修正を加えている(繰越金の関係の表記)ことも示された。

補足説明として、世界天文年関係以外にも、新事務長の雇用に関する予算、PASJの半額キャンペーンの残りの部分など、いくつかの点で支出が増えている点が挙げられた。

原案について議論を行い、承認した。

今後予想されるPASJの月刊化による影響は大きい可能性があるとの指摘があり、補助金関連からの収入減ともあわせて注意深く状況を判断しながら行動していく必要があること、今後、何かしらについて拡大路線をとる場合、どれを縮小するかを考え

る必要があるとの認識で一致した。

また、年会の運営に対しては、今までは何とか収支のバランスをとってきたわけであるが、それは開催地のかなりの努力で何とかなっている部分も多く、今後、開催地の負担が過重にならないように業者を使うなどをする場合には、予算的に苦しい状況も予想される。年会のサポートは、参加者だけでなく、学会員全員からのものが必要なのではないかとの意見も出された。

#### 7. 秋季総会議題等

高田庶務理事より、資料8に基づいて秋季年会中に行われる総会における議題等についての案が示され、承認された。

#### 8. その他

##### (1) PASJ General Index の制作取りやめについて

堂谷PASJ理事より、資料9に基づいてPASJ General Index の制作取りやめについての説明が行われた。他の主要雑誌もIndexは電子版に移行しており、特に問題なしとの意見で一致し、制作取りやめについて承認した。

##### (2) 世界天文年合同展示について

国枝副理事長より提出された資料10に基づいて、日本天文学会世界天文年合同展示について、高田庶務理事より説明が行われた。

2009年5月より1~2カ月ずつ、国立科学博物館、仙台市天文台、名古屋市科学館、大阪市科学館において巡回展示を行うこと、展示の構成についての原案などが示された。内容等について聞きたいことや提案等があれば、担当者に直接指摘をしていただきたいとのこと。系外惑星探査の記述が抜けているのは大丈夫かなどの指摘があった。また、具体的な運営資金に関する会計上の手続きについては、今後、会計理事と具体的に相談しながら決めていく必要がある旨指摘があり、その点を考慮しながら進めることで了承された。

次回は秋季年会中の9月11日を予定。

次々回は新旧理事の引き継ぎの会となるため、暫定的に1月10日を予定日とすることとした。

2008年7月25日

議長 土佐 誠 ㊟  
署名人 花岡庸一郎 ㊟  
署名人 高田 唯史 ㊟

## 【評議員会議事録】

開催日時：2008年7月5日（土）13:00～16:30

開催場所：東京大学理学部4号館1320号室

出席者：井上、岡村、郷田、須藤、宮川、家、坂田、佐藤、杉山、筒井、観山、山田（以上12名）

有効表決状提出者：海部、柴田、永田、渡部、池内、谷口（以上6名）

欠席者：中川、望月（以上2名）

他に理事会より國枝副理事長、花岡、高田、北本の各理事と東條事務長が出席した。

議事に先立ち、議長として杉山氏、署名人として山田、坂田両氏を選出した。

## 報告

## 1. 前回議事録の確認

高田庶務理事より資料1により前回の議事録が説明され、確認を行った。

## 2. 秋季年会等について

高田庶務理事より資料2に基づいて2008年秋季年会の準備状況等について説明が行われた。総会の前に演奏会が行われること、100周年記念の展示パネルを春季年会に続いて展示する予定であることが紹介された。

また、次回以降の年会の開催場所についても口頭で説明が行われた。

## 3. 新委員会委員

高田庶務理事より資料3に基づいて次期の各委員会の委員について報告が行われた。創立100周年記念出版事業編集委員会は継続、100年史編纂委員会は解散することなどが示された。

## 4. PASJ General Index の制作取りやめについて

高田庶務理事より資料4に基づいてPASJ General Index の制作取りやめについて理事会で議論され承認された旨、報告が行われた。

## 5. 創立百周年及び世界天文年合同展示について

國枝副理事長より、資料11に基づいて、日本天文学会百周年記念および世界天文年における合同（巡回）展示について説明が行われた。全体の構成や内容についての簡単な紹介のほか、8月くらいに業者に対して展示案の提案を求め、年内には業者は決定予定であること、経費の分担や実際の執行の仕方などについて説明が行われた。

世界天文年の日本委員会との関係についての明確化が必要であるとの意見が出され、それについては、実行委員会に2人の副理事長が入っていて連絡は密に行っているとの回答がなされた。

また、家氏よりすばる望遠鏡関連で作成したビデオの提供もできる旨提案があり、使用する方向で話を進めることとなった。

その他にも使用できそうなリソースもありそうなので、その点については提案をして欲しい旨、要請があった。

## 6. その他

## (1) 天文学用語集の改訂について

家氏より資料5に基づいて天文学用語集の改訂について説明が行われた。日本学術振興会学術システム研究センターにおける大型科研費審査の国際化に向けた、キーワード等の英語化の検討の段階で、現行の用語集では不適切と思われる表記が散見されたことがきっかけ、学会としては改訂に向けて前向きに取り組むべきではないかとの指摘が行われた。

特に教科書などで用いられる用語については学会主導でガイドラインを示すべきとの意見で一致し、とりあえずは天文学会が独自に改訂を行い、その後をどのように展開していくかは状況を見ながら判断するべきではないかとの意見で一致した。具体的な取り組みについては理事会で案を作成することとなった。

## (2) SPIE2012 の日本開催について

家氏より資料6に基づいてSPIE2012の日本開催について報告が行われた。2012年にSPIEの天文学に関するカンファレンスを日本で開催する方向で話が進みつつあるので、決定の際には共催などの形による協力等をお願いしたい旨、報告された。2,000人規模の会議場が必要で、既に打診を始めていることなどもあわせて紹介された。

## (3) 若手研究者を対象とした海外学術研究援助に関するアンケート

宮川氏より配付資料に基づいて天文天体物理若手の会が実施を予定している、若手研究者を対象とした海外学術研究援助に関するアンケートについて説明が行われた。基本的にメールでアンケートを配布する予定であること、所属機関ごとの状況もわかるようになっているほか、援助を行っている財団等を知っているかなども聞く内容になっていると紹介された。

さまざまな意見が出されたが、本当に必要な情報が原案ではすべて集められるようになっておらず、また、わかりづらい記述・構成についても意見が出され、指摘事項を修正の上、アンケートを実施することとなった。

## (4) 世界天文年について

観山氏より口頭で世界天文年に関する募金集め等について報告があった。募金集めには免税措置を考慮する必要があり、国立天文台は主催団体の一つなので、国立天文台に寄付を集めることとなったこと、天文学会の年会等でも世界天文年用のブースの設置を考えていること、また、今後はいろいろな団体への寄付のお願いに回ることが考えられるが、その場合に協力をお願いしたい旨、説明された。

## (5) IAU の執行委員会報告

岡村氏より口頭で、IAU の執行委員会の報告が行われた。海部氏が President-elect となることが決定したこと、冥王星型天体という名称が正式に認められたことが報告された。

## (6) 100 周年記念出版の韓国語版作成について

岡村氏より口頭により、100 周年記念出版の韓国語版作成について、その後の経過の説明が行われた。一人の編集者ではさすがに厳しいので複数人になったこと、ただし、日本語を解せる人しか対応できないので、やはり大人数は望めないこと、著作権や版権については今後の協議事項であることなどが紹介された。

## (7) 宇宙基本法について

井上氏より口頭により宇宙基本法の成立に伴う現状の動きや、天文学会に対するさまざまな影響等について、秋季年会の総会において報告を行うことを考えていることが報告された。

## (8) サマータイムについて

サマータイムの導入に関して学会として何か動きがないのかとの質問が複数の委員よりなされ、社会一般の問題について天文学会から何かアピールできるのかを検討する必要があるとの意見で一致し、理事会等で議論を行うこととなった。

## 議 題

## 1. 新役員候補者の推薦

高田庶務理事より資料 7 に基づいて新役員候補者について紹介が行われた。特に国立天文台選出の候補者について分野の偏りがあることに対する懸念は示されたが、原案どおり承認された。

今後の役員の決定方法のプロセスのあり方について議論が行われ、理事会や評議員会から就任をお願いするという形を考えていくことや、理事長を公選で選ぶなど、理事の決め方の変更について、実効性を考慮しながら理事会において議論することを申し送ることとなった。

## 2. 新選挙管理委員候補者の指名

高田庶務理事より資料 8 に基づいて新選挙管理委員候補者が示された。候補者全員が国立天文台の人だけというのは公正さを欠くのではないかとの意見が出され、協議の結果、東大天文センターの本原氏に、国立天文台の辻本氏の替わりをお願いすることで了承し、高田庶務理事より当事者の方々に了承をとることとなった。

## 3. 2009 年度事業計画書案

高田庶務理事より資料 9 に基づいて 2009 年度事業計画書案について説明が行われ、原案どおり承認された。

## 4. 2009 年度収支予算書案

北本会計理事より資料 10 に基づいて 2009 年度収支予算書案について説明が行われた。補助金の減少の影響が一般会計に見えている点を示されたほか、PASJ の紙版をやめた場合の損得勘定や、月刊化をした場合についても予算のシミュレーションをきちりと考えないといけない事態になっているとの認識が示された。検討事項として PASJ 編集委員長に伝えることとなった。

また、徴収不能額の増加について質問があり、主な原因は学生の会員であり、就職などの影響で現状(コンタクト先など)が追えなくなっている場合が多い旨、説明された。

岡村氏より、100 周年記念出版について最悪の場合 2~3 巻が今年度中に出せないのではないかとの危惧がある旨、補足説明があり、また、今後 10 年程度、内容の改訂を継続するのであれば、そのための費用も必要である旨指摘が行われた。原案どおり承認。

## 5. 秋季総会議題等

高田庶務理事より資料 12 に基づいて秋季総会議題等について説明があった。報告事項の中に学術会議の報告、および宇宙基本法についての現状の動きについての報告を加えることで了承された。

## 6. その他

天文学会の法人としてのあり方や、それに対応した変化に伴う、今後の対応の仕方に関して問題が生じる可能性がないのか、複数の委員より質問があり、理事による確認が必要であるとの認識で一致し、理事会への申し送り事項となった。

今回は秋季年会中、次々回は 1 月 24 日(土)開催することとなった。なお、1 月においては、各賞の選考等で時間がかかることも予想されるため、少し早めの時間からの開催を考えることとなった。会場については

未定.

議長 杉山 直 ㊟

署名人 山田 亨 ㊟

署名人 坂田 悠 ㊟

2008年7月24日

(社)日本天文学会へ2008年3月20日～2008年6月21日までの間に入会された方、退会された方をお知らせいたします。

## 正会員入会 (46名)

近藤啓二	刈谷市役所	小川崇之	千葉大・大学院理 (在学)
森 正	(株)メディア・アイ・コーポレーション	弘田澄人	放送大・大学院 (在学)
泉谷夏子	東京大・大学院理 (在学)	秋山演亮	秋田大
初鳥陽一	国立天文台	竹内幹蔵	島根県立三瓶自然館
下西 隆	東京大・大学院理 (在学)	黒岩宏一	大阪府立大・大学院理 (在学)
廣井和雄	京都大・大学院理 (在学)	沖田博文	東北大・大学院理 (在学)
大島 泰	国立天文台・野辺山	大島誠人	京都大・大学院理 (在学)
古間木翔太	京都大・大学院理 (在学)	坂根悠介	九州大・大学院理 (在学)
竹中恵理	立教大・大学院理 (在学)	北川直優	東京大・大学院理 (在学)
橋本祐樹	京都大・大学院理 (在学)	梨本拓郎	金沢大・大学院理 (在学)
立浪千尋	東京工業大・大学院理 (在学)	和田 茜	金沢大・大学院理 (在学)
石野佑紀子	京都大・大学院理 (在学)	北園 武	宮崎大・大学院工 (在学)
敷田文吾	早稲田大・大学院理 (在学)	小山翔子	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台
藤村大介	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台	坂田実沙	東北大・大学院理 (在学)
眞田貴央	早稲田大・大学院理 (在学)	大木 平	北海道大・大学院理 (在学)
齋藤 慧	東京大・大学院理 (在学)/JAXA	大野貴博	東京大・大学院理 (在学)
中森健之	京都大・大学院理 (在学)	松井佳菜	北海道大・大学院理 (在学)
中島 淳	京都大・大学院理 (在学)	石川久美	首都大学東京・大学院理 (在学)
松尾太郎	NASA/JPL	豊澤英徳	東海大・大学院理 (在学)
福岡亮輔	京都大・大学院理 (在学)	高橋昌也	北海道大・大学院工 (在学)
大谷敦久	日本電気(株)	田原 亮	北海道大・大学院工 (在学)
劉 周強	京都大・大学院理 (在学)	竹腰達哉	北海道大・大学院理 (在学)
阿南 徹	京都大・大学院 (在学)	小尾善男	東京工業大・大学院理 (在学)

## 準会員入会 (21名)

村上英義	東京理科大・大学院理 (在学)	山本直紀	東邦大
榮田 博	千葉県船橋市在住	鈴木裕司	京都大・大学院理 (在学)
徳谷 碧	名古屋大・大学院理 (在学)	片山雄太	鹿児島大・理
武重偉喜	大洋鋼材(株)	平木一至	広島大・大学院理 (在学)
福原将之	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台	林 克洋	広島大・大学院理 (在学)
林 健康	NTT インターネット(株)	池尻祐輝	広島大・大学院理 (在学)
陶山 徹	北海道大・大学院理 (在学)	松岡正之	広島大・大学院理 (在学)
鈴木 豊	鹿児島大・理	先本清志	広島大・大学院理 (在学)
増田芳弘	千葉市役所	伊藤洋介	東北大・理
山崎高幸	国立天文台	花畑義隆	広島大・大学院理 (在学)
北住 暁	東京都武蔵野市在住		



**移籍会員〔準→正〕(2名)**

吉田鉄生 東京理科大・大学院(在学)/JAXA 福田暁彦 名古屋大・大学院理(在学)

**移籍会員〔正→準〕(3名)**

堀久仁子, 池之上文吾, 藤代尚文

**正会員退会(33名)**

青木信仰, 長江伸一, 松葉龍一, 大杉幸督, 森本太郎, 須藤 淳, 岡 和孝, 市坪太郎, 山本則正, 春日敏測, 廣田晶彦, 張替謙一, 金井陽子, 小林 純, 久保井信行, 川本 司, 猪俣則智, 白岩真弥, 榎原匡俊, 石塚知香子, 橋田華絵, 関根宗成, 保田誠司, 谷津陽一, 河津飛宏, 中道将司, 金井沙織, 鎌田麻理, 池田尚史, 岩原知永, 林 洋行, 宮野順子, 中島美紀

**準会員退会(17名)**

小森長生, 佐藤達雄, 土屋照夫, 中居理光, 平野辰巳, 松本義和, 岡田 祐, 西田大輔, 吉田岳彦, 飯塚康至, 伊藤純也, 平澤 歩, 永吉 勉, 村澤 哲, 滋野 直, 安平真規, 石井美絵

**賛助会員退会(1社)**

アムテックス

**団体会員退会(1団体)**

仙台こども宇宙館

**訂正**

天文月報第2008年8月(第101巻第8号)の467頁の人事公募結果に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

正) 吉田至順

誤) 吉田志順

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード vol98 の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

和田桂一(編集長), 浅井 歩, 今西昌俊, 衣笠健三, 齋藤正雄, 寺田幸功, 戸谷友則, 三好 真, 矢野太平, 吉田直紀  
平成20年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

©社団法人日本天文学会 2008 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)